

# 審判員派遣報告書

|       |                             |      |                |
|-------|-----------------------------|------|----------------|
| 派遣事業名 | 第75回全国高等学校<br>バスケットボール選手権大会 | 派遣期日 | 令和4年12月23日～24日 |
| 報告者   | 平尾 翔汰朗                      | 派遣先  | 東京都渋谷区千駄ヶ谷     |

## 1 大会概要

|      |  |      |                |
|------|--|------|----------------|
| 大会名称 | 第75回全国高等学校<br>バスケットボール選手権大会                          | 大会期間 | 令和4年12月23日～29日 |
| 大会概要 | 各都道府県・ブロック大会優勝した都道府県から1チームの男女各60チーム・合計120チームのトーナメント戦 |      |                |

## 2 担当試合 ※（試合内容は簡潔に書いてください）

|       |  |    |       |
|-------|--|----|-------|
| 日程    | 令和4年12月23日   | 会場 | 東京体育館 |
| 審判クルー | CC: 小野裕樹（青森） U1: 平尾翔汰朗（香川） U2: 鈴木最結（東京）                  |    |       |
| 担当試合  | 近江兄弟社（滋賀） VS 東海大諏訪（長野）                                   |    |       |
| 試合内容  | 前半は均衡した展開の中近江兄弟社がリードするも、後半に高さを生かした展開からリズムを掴んだ東海大諏訪が勝利した。 |    |       |

|       |  |    |       |
|-------|--|----|-------|
| 日程    | 令和4年12月24日                             | 会場 | 東京体育館 |
| 審判クルー | CC: 及川学（岩手） U1: 平尾翔汰朗（香川） U2: 石川丈晴（東京） |    |       |
| 担当試合  | 明德義塾（高知） VS 奈良育英（奈良）                   |    |       |
| 試合内容  | 序盤から明德義塾が留学生を中心にリードを広げ、そのまま勝利した。       |    |       |

## 3 大会（研修会）を通して 《 学んだこと 感じたこと 県内審判に伝えたいこと 等 》

### ●ベンチや選手に対するインテンシティーコントロール

ベンチや選手に対するインテンシティーコントロールに自身の反省点が残った。ファウルとして取り上げられているもの・いないものに対する違和感やコーリングレフリーのポジションなど様々なことからフラストレーションが溜まっていく中でコーチの方のアピールの仕方に対して上手く振る舞うことができなかった。クルーとして情報をどのように共有していきながら上手くベンチや選手にコミュニケーションを含めコントロールしていけるかも大事ですが、「same call・same judge」やプライマリーやメカニクスなどのベーシックなものを築くことが何よりもインテンシティーコントロールに重要になることに気づくことができた。

### ●判定に繋がる・繋げていくコミュニケーション

上記の内容にも被ることでありますが、情報をクルーに共有していく中でその情報を判定に繋げていかないと正しい情報共有・コミュニケーションは取れていないと感じました。ゲームが進んでいく中でメカニクスなどのコミュニケーションはできてもクルーがコールしたものをブックマークしているものの確認や自分がコールしたものをどのようにクルーに伝え、判定に繋げていけるかが大事だと学ぶ

ことができた。

●CCM の発揮の仕方や使い分けについて

CCM の発揮にはたくさんの方がいます。その中で相手レフリーの前をコールしてゲームを進める・落ち着かせることもあります。クルーとして自分を出す場面、クルーを引き立たせる場面を理解してそれぞれを上手く使い分けていけるようにしていきたいと思います。

#### 4 その他

この度は、ウインターカップ 2022 に派遣していただきまして誠にありがとうございました。日頃からお世話いただいております上級審判員をはじめ、県内審判員の皆様には深く感謝申し上げます。

今回の全中で学んだことを県内審判員と共有し、来年度の香川全中や今後の審判員全体の成長に繋がるよう努めてまいります。

派遣に際してご理解ご支援いただいた香川県バスケットボール協会の皆様、ありがとうございました。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。